



2021年9月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2021年11月12日

上場会社名 株式会社まんだらけ

上場取引所 東

コード番号 2652 URL <https://www.mandarake.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻中 雄二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 川代 浩志

TEL 03-3228-0007

定時株主総会開催予定日 2021年12月17日

配当支払開始予定日

2021年12月20日

有価証券報告書提出予定日 2021年12月23日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期の業績(2020年10月1日～2021年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	9,626	6.7	600	133.4	567	130.9	357	156.7
2020年9月期	9,017	10.3	257	71.1	245	71.0	139	75.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	53.95		4.6	3.5	6.2
2020年9月期	21.01		1.8	1.5	2.8

(参考) 持分法投資損益 2021年9月期 百万円 2020年9月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	16,122	7,793	48.3	1,176.41
2020年9月期	15,852	7,442	46.9	1,123.45

(参考) 自己資本 2021年9月期 7,793百万円 2020年9月期 7,442百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	392	140	283	736
2020年9月期	232	204	79	766

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期		0.00		1.00	1.00	6	4.7	0.0
2021年9月期		0.00		1.00	1.00	6	1.8	0.0
2022年9月期(予想)		0.00		1.00	1.00			

3. 2022年9月期の業績予想(2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,664	0.3	223	0.1	208	0.3	124	0.3	18.77
通期	9,667	0.4	605	0.8	569	0.3	358	0.4	54.17

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期	7,236,000 株	2020年9月期	7,236,000 株
期末自己株式数	2021年9月期	611,238 株	2020年9月期	611,238 株
期中平均株式数	2021年9月期	6,624,762 株	2020年9月期	6,624,762 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	8
(3) 株主資本等変動計算書	11
(4) キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(表示方法の変更)	14
(追加情報)	14
(セグメント情報等)	14
(持分法損益等)	14
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による度重なる緊急事態宣言の発令から、経済活動は大きな影響を受け、厳しい状況が続きました。ワクチン接種が進み持ち直しの動きも見られますが、動きは鈍く先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属する中古商品業界は、将来に対する消費者の強い不安感によって、生活防衛意識からの節約志向は持続され、中古品全般に対する需要はさらに高まりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、お客様のご来店機会は損なわれており、通信販売へと誘導を図る業者間の競争は、一層の激化をたどる事業環境になっております。

このような事業環境のもとで当社は、最新の商品からマニアックな希少品まで、新たな商材の掘り起こしと、その市場の創出と定着を図る方針を継続し、店頭、ECサイトの双方で品揃えの拡大と充実を進めました。当社が取り扱う商品については、買い取りの告知などを通じて世間の関心をとらえ、掘り起こしました多種多様な商品を店頭で展開いたしますと同時に、web上でも国内外を問わずに紹介し、世界中のコレクターから広く一般のお客様まで、多種多様な潜在的ニーズを引き出す営業活動を展開いたしました。

当社は基幹のPOSシステムに蓄積されたデータを用いて、買い取り実績のある商品は仕入から販売、保管の状況を一貫して把握し、需要動向や在庫状況に応じ迅速で的確な価値判断をすることによって、仕入の拡充を進めております。新規取り扱いは、直ちにマスターデータを登録、整備を欠かさずに行い以後の仕入動向に基づいた確度の高い販売可能性を追求、他社に先がけてその魅力を伝え、市場の創出と育成を図っております。当社は「適正価格で買い取る」という基本方針の徹底によって多数の良質な商品を買取り、多様な品揃えの展開で、お客様の満足度を高めてまいりました。

販売面におきましては、まんだらけSAHRA（サーラ）を主力とするWeb通信販売が、売上の伸びを堅持しております。また希少な商品を出品し続けることによって、隔月で開催しております大オークションは、全世界から多くのお客様にご参加いただいております。その他、中野店をはじめ各店舗では、大小の規模でリニューアル、新規の売場開設を進め、取扱い商品の拡大を図ることにより売上高の維持、向上に努めております。

これらの営業展開によりまして、当事業年度の売上高は9,626百万円（対前年同期比6.7%増）となり、経常利益は567百万円（対前年同期比130.9%増）に、当期純利益は357百万円（対前年同期比156.7%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における総資産は、前事業年度末から269百万円増加して16,122百万円となりました。

流動資産につきましては、前事業年度末から339百万円増加して9,688百万円となりました。これは主に商品及び製品の増加384百万円によるものであります。

固定資産につきましては、前事業年度末から69百万円減少して6,434百万円となりました。これは主に有形固定資産の減価償却が進んだことによるものであります。

流動負債につきましては、前事業年度末から353百万円減少して4,053百万円となりました。

固定負債につきましては、前事業年度末から272百万円増加して4,275百万円となりました。これらは主に、短期借入金の返済および社債の償還が新規の長期借入金を上回ったことによるものであります。

純資産は、当期純利益357百万円の確保による利益剰余金の増加があり、前事業年度末から350百万円増加して7,793百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末と比較して30百万円減少し、当事業年度末残高は736百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローは以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、392百万円となりました。これは主に、税引前当期純利益564百万円、減価償却費235百万円が、支出におけるたな卸資産の増加384百万円、法人税等の支払額61百万円を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に用いた資金は、140百万円となりました。これは主に、2020年12月に移転したグランドカオス、その他の店舗設備工事等に伴う有形固定資産の取得による支出147百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、283百万円となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出1,616百万円、長期借入金の返済による支出2,429百万円、社債の償還による支出131百万円が、短期借入れによる収入2,150百万円、長期借入れによる収入1,750百万円を上回ったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期
自己資本比率	43.0	44.5	46.7	46.9	48.3
時価ベースの自己資本比率	28.1	30.8	25.6	20.9	26.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	18.1	12.2	—	30.3	17.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ	7.3	11.4	—	5.0	9.6

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ キャッシュ・フローはキャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

次期におけるわが国経済の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響が懸念され、依然として先行きは不透明ながら、国内ではワクチン接種の浸透、行動制限の緩和など明るい兆しも見えはじめ、景気の回復が期待されております。個人消費も、新型コロナウイルス感染症に対する不安感は拭えませんが、通信販売は堅調に推移するなど、今後の経済成長に向けた道筋が見えてくるものと考えております。

このような環境のなかで、当社は引き続き積極的に営業を展開してまいります。各店舗における買取を強化し、当社の強みである希少で良質な商品の充実に努め、これらの商品の店頭販売に加えまして、まんだらけSAHRA（サーラ）を主力としたweb通信販売、年6回開催としているオークション大会により、全世界に向け販売を拡大してまいります。その他、中野店をはじめいたします全店舗参加による「大まん祭」を継続して毎年開催、定例の大規模販売イベントとして新規顧客層の獲得と定着化を図るなど、新たな営業展開を推進してまいります。

このような営業展開によって次期の業績見通しを、売上高9,667百万円（前期比0.4%増）、営業利益605百万円（前期比0.8%増）、経常利益569百万円（前期比0.3%増）、当期純利益358百万円（前期比0.4%増）と予測しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当事業年度 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	766,573	736,348
受取手形及び売掛金	264,400	271,255
商品及び製品	8,153,666	8,538,455
仕掛品	2,080	2,338
原材料及び貯蔵品	19,599	18,672
前払費用	60,471	45,632
未収入金	26,623	37,299
未収還付法人税等	15,304	-
その他	39,999	38,379
流動資産合計	9,348,719	9,688,381
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,032,800	5,065,418
減価償却累計額	△2,222,929	△2,314,511
建物(純額)	2,809,871	2,750,907
構築物	306,412	298,480
減価償却累計額	△89,082	△94,472
構築物(純額)	217,330	204,007
機械及び装置	214,231	214,231
減価償却累計額	△114,706	△129,567
機械及び装置(純額)	99,525	84,663
車両運搬具	20,125	20,125
減価償却累計額	△16,656	△17,922
車両運搬具(純額)	3,468	2,202
工具、器具及び備品	974,085	1,033,146
減価償却累計額	△697,712	△754,145
工具、器具及び備品(純額)	276,373	279,001
土地	2,216,136	2,216,136
有形固定資産合計	5,622,706	5,536,919
無形固定資産		
ソフトウェア	13,389	13,391
無形固定資産合計	13,389	13,391

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当事業年度 (2021年9月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	446	561
出資金	800	830
長期貸付金	16,000	16,000
長期前払費用	6,138	2,589
繰延税金資産	511,546	550,015
差入保証金	349,038	330,049
貸倒引当金	△16,000	△16,000
投資その他の資産合計	867,971	884,045
固定資産合計	6,504,067	6,434,356
資産合計	15,852,786	16,122,737
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,311	18,353
短期借入金	1,482,000	2,016,000
1年内返済予定の長期借入金	2,261,089	1,268,032
1年内償還予定の社債	131,000	66,000
未払金	199,941	177,836
未払費用	63,207	62,503
未払法人税等	26,876	204,933
前受金	47,799	68,822
預り金	49,484	33,087
賞与引当金	50,456	54,270
株主優待引当金	71,245	83,877
流動負債合計	4,407,412	4,053,718
固定負債		
社債	186,000	120,000
長期借入金	2,994,470	3,307,676
退職給付引当金	758,247	790,281
資産除去債務	64,092	57,648
固定負債合計	4,002,809	4,275,606
負債合計	8,410,221	8,329,324

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当事業年度 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	837,440	837,440
資本剰余金		
資本準備金	1,117,380	1,117,380
資本剰余金合計	1,117,380	1,117,380
利益剰余金		
利益準備金	3,000	3,000
その他利益剰余金		
特別償却準備金	333	333
別途積立金	2,218,000	2,218,000
繰越利益剰余金	3,399,260	3,750,029
利益剰余金合計	5,620,593	5,971,362
自己株式	△132,879	△132,879
株主資本合計	7,442,533	7,793,303
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31	110
評価・換算差額等合計	31	110
純資産合計	7,442,565	7,793,413
負債純資産合計	15,852,786	16,122,737

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高		
商品売上高	8,947,524	9,532,663
製品売上高	70,412	93,487
売上高合計	9,017,937	9,626,151
売上原価		
商品期首たな卸高	7,981,279	8,068,750
当期商品仕入高	4,285,143	4,719,852
合計	12,266,423	12,788,602
商品期末たな卸高	8,068,750	8,455,911
商品売上原価	4,197,672	4,332,691
製品期首たな卸高	91,777	84,915
当期製品製造原価	35,135	31,342
合計	126,913	116,257
製品期末たな卸高	84,915	82,543
製品売上原価	41,998	33,714
売上原価合計	4,239,670	4,366,405
売上総利益	4,778,266	5,259,745
販売費及び一般管理費		
役員報酬	150,780	157,531
給料及び賞与	1,431,765	1,436,369
雑給	575,578	617,801
賞与引当金繰入額	50,456	54,270
株主優待引当金繰入額	57,191	63,360
退職給付費用	37,794	51,547
法定福利費	314,370	301,490
福利厚生費	35,723	32,559
賃借料	543,812	539,459
租税公課	96,393	100,513
減価償却費	243,088	235,765
消耗品費	88,571	92,373
その他	895,466	976,193
販売費及び一般管理費合計	4,520,991	4,659,235
営業利益	257,274	600,510

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	32	7
為替差益	-	128
受取保険金	20,859	1,186
助成金収入	-	2,000
物品売却益	1,319	1,927
雇用調整助成金	12,476	1,340
雑収入	5,018	6,461
営業外収益合計	39,710	13,059
営業外費用		
支払利息	42,198	37,802
社債利息	3,656	2,492
為替差損	48	-
社債発行費	517	-
支払手数料	3,994	3,941
雑損失	744	1,552
営業外費用合計	51,159	45,788
経常利益	245,826	567,781
特別損失		
有形固定資産除却損	0	2,990
特別損失合計	0	2,990
税引前当期純利益	245,826	564,791
法人税、住民税及び事業税	139,172	245,900
法人税等調整額	△32,538	△38,503
法人税等合計	106,634	207,396
当期純利益	139,191	357,394

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)		当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 経費	※2	35,071	100.0	31,600	100.0
当期総製造費用		35,071	100.0	31,600	100.0
期首仕掛品たな卸高		2,145		2,080	
合計		37,216		33,681	
期末仕掛品たな卸高		2,080		2,338	
当期製品製造原価		35,135		31,342	

前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1. 原価計算の方法 個別原価計算を採用しております。	1. 原価計算の方法 同左
※2. 経費の主な内訳 外注費 29,748千円 原稿料 2,051千円	※2. 経費の主な内訳 外注費 23,654千円 原稿料 2,732千円

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計
				特別償却 準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	837,440	1,117,380	1,117,380	3,000	333	2,018,000	3,466,693	5,488,026
当期変動額								
剰余金の配当							△6,624	△6,624
当期純利益							139,191	139,191
別途積立金の積立						200,000	△200,000	—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	200,000	△67,433	132,566
当期末残高	837,440	1,117,380	1,117,380	3,000	333	2,218,000	3,399,260	5,620,593

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△132,879	7,309,967	122	122	7,310,089
当期変動額					
剰余金の配当		△6,624			△6,624
当期純利益		139,191			139,191
別途積立金の積立		—			—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△91	△91	△91
当期変動額合計	—	132,566	△91	△91	132,475
当期末残高	△132,879	7,442,533	31	31	7,442,565

当事業年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		特別償却準備金	別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	837,440	1,117,380	1,117,380	3,000	333	2,218,000	3,399,260	5,620,593
当期変動額								
剰余金の配当							△6,624	△6,624
当期純利益							357,394	357,394
別途積立金の積立								—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	350,769	350,769
当期末残高	837,440	1,117,380	1,117,380	3,000	333	2,218,000	3,750,029	5,971,362

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△132,879	7,442,533	31	31	7,442,565
当期変動額					
剰余金の配当		△6,624			△6,624
当期純利益		357,394			357,394
別途積立金の積立		—			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			79	79	79
当期変動額合計	—	350,769	79	79	350,848
当期末残高	△132,879	7,793,303	110	110	7,793,413

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	245,826	564,791
減価償却費	243,088	235,765
賞与引当金の増減額 (△は減少)	741	3,813
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13,792	32,034
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	9,731	12,632
受取利息及び受取配当金	△37	△14
支払利息	45,854	40,294
社債発行費	517	-
為替差損益 (△は益)	48	△128
有形固定資産除却損	0	2,990
売上債権の増減額 (△は増加)	△20,457	△6,855
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△76,521	△384,119
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,851	△5,957
その他	106,041	13
小計	578,478	495,260
利息及び配当金の受取額	37	14
利息の支払額	△45,754	△40,772
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△300,020	△61,584
営業活動によるキャッシュ・フロー	232,740	392,917
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△140,164	△147,690
無形固定資産の取得による支出	△9,800	△5,018
資産除去債務の履行による支出	-	△6,300
敷金の差入による支出	△55,137	△17,094
敷金の回収による収入	196	36,084
投資活動によるキャッシュ・フロー	△204,905	△140,019
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,373,000	2,150,000
短期借入金の返済による支出	△3,262,000	△1,616,000
長期借入れによる収入	2,000,000	1,750,000
長期借入金の返済による支出	△2,133,238	△2,429,851
社債の発行による収入	199,482	-
社債の償還による支出	△91,000	△131,000
配当金の支払額	△6,625	△6,379
財務活動によるキャッシュ・フロー	79,619	△283,230
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	107
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	107,480	△30,224
現金及び現金同等物の期首残高	659,092	766,573
現金及び現金同等物の期末残高	766,573	736,348

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

前事業年度において、営業外収益の「雑収入」に含めておりました「物品売却益」は営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当事業年度より区分して記載しております。

この表示方法を反映させるため、前事業年度については、財務諸表の組替を行っております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

当社は、中古品販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)		当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産額	1,123.45円	1株当たり純資産額	1,176.41円
1株当たり当期純利益	21.01円	1株当たり当期純利益	53.95円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当事業年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
損益計算書上の当期純利益(千円)	139,191	357,394
普通株式に係る当期純利益(千円)	139,191	357,394
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	6,624,762	6,624,762
当期純利益調整額(千円)	—	—
潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式増加数の主要な内訳(株)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。